短期輪作草地用の禾本科優良牧草

H・ワン・ライグラス

浦樓
三梧

一　H・ワン・ライグラスはイタリアンとペレニアルの中間的性格をもっている。

一年生で生育の早いイタリアンライグラスは暖地では裏作として冬作され、寒地では主として春又は夏播きとし、七〇～八〇日で収穫する短期草地や青刈麦類との混播に利用されておりますが、生育の早いこと即ち短期間で多収を得ることではこのイタリアンライグラスに優る牧草は他にありませんが、慾を言えば草の寿命が一年切りという所に不満がないでもありません。

他方短年性のペレニアルライグラスはイタリアンライグラスに較べて寿命は長い（三～四年利用）が、草丈も短く、生育の速度も幾分遅く、従つて同一期間での収量はやや劣るようであります。

ライグラス類の試作成績（春播きイタリアンとの一番草の比較）　（上野幌育種場）

	第一年目 播種期	第一年目 発芽期	第一年目 出穂期	第一年目 開花期	第一年目 同上の草丈	第一年目 収量割合	第二年目 播種期	第二年目 発芽期	第二年目 萌芽期	第二年目 出穂期	第二年目 開花期	第二年目 同上の草丈	第二年目 収量割合	第三年目 生育概況
	月日	月日	月日	月日	糎	%	月日	月日	月日	月日	月日	糎	%	
ペレニアルライグラス	五、四	五、四	八、二	八、一〇	七二・〇	一〇〇	—	—	五、二〇	七、一	七、二	八二・〇	一〇〇	二年目に略同じ生育を行い収量稍減少
イタリアンライグラス	五、四	五、四	七、一〇	七、二〇	九七・〇	一四三	五、二	五、一三	—	七、三	七、二五	九四・〇	七五	二年目と同様新播を要する
H・ワンライグラス	五、四	五、四	七、二七	八、五	九八・〇	一二〇	—	—	五、二六	七、一	七、二	九九・〇	八二	殆ど消失、更新を要す

備考　一　反当約五〇〇瓦を一・七尺の条播として栽培。
　　二　二番草の生育では顕著な差が認められなかつた。

そこでこの両者の欠点を補い、長所を取り合わせたものが、ニュージランドで改良育成されたイタリアンライグラスの優良品種H・ワン・ライグラスであります。

この三者の試作成績を参考迄に掲げますと次の通りであります。

即ち前掲の試作結果をみますと、H・ワン・ライグラスは播種当年ではペレニアルライに比して生育早く、収量も多くイタリアンに略々近い多収となり、二年目ではペレニアルライよりも萌芽が幾分遅れ、収量も約二割程度劣るが、新播のイタリアンライに比し多収です。結局二年利用では収量、播種労力等よりみて、イタリアン・ペレニアルよりも有利であり、利用の面でもペレニアルは主として放牧用であるが、H・ワン・ライは刈草、放牧何れにも利用万能です。

二　H・ワン・ライグラスの有利な利用法

前記の特性からみて本草の有利な利用法として考えられます事は、

(一)　牧草地の早期収量を挙げるための混播

永年牧草地を造成するに当つて、なるべく早期に収量を挙げるためには生育の早い一年生牧草を若干混播することが有利であり、従来は主として、この目的のために荳科ではベッチ類、クリムソンクロバー等を用い、禾本科ではイタリアンを重用して来ましたが、イタリアンの場合は反当五〇〇瓦内外の混播でもあまりにも生育が早いために他の草種を圧倒し、爾後の植生や草生を悪くすることもありましたが、H・ワンの利用で余程この点が緩和され、然も早期収量も挙げられます。

(二)　夏枯れ地帯の秋播き用として有利

西南暖地の牧草栽培は夏枯れのため、永年牧草でも殆どの種類は秋まき、五、六月収穫という越年一年利用が有利であり、主としてこの型式の栽培が多いのですが、イタリアンライの場合は早春までの生育は早いが五、六月迄は旺盛な再生が続かず、又ペレニアルライは五、六月迄充分再生を続けますが、初期収量も多くその上五六月迄は充分旺盛に再生しますから、西南暖地の秋まき夏更新用の牧草としては恰好なものでしょう。

(三)　ラデノクロバーの混播相手に適す。

生育、再生の旺盛なラデノクロバーには寒冷地ではペレニアル、オーチャードの混播が有利であり、暖地ではオーチャードを混播し、オーチャードがラデノクロバーと充分競合の出来る状態となる三年目迄は初年目、二年目ともイタリアンの混播、追播を行いますが、この場合イタリアンに代つて、H・ワン・ライを用いると当初の混播だけで、イタリアンライの様な二年目の追播がなくとも、オーチャードの生育盛期までよく混播の目的を達してくれます。

三　H・ワン・ライグラスの栽培上の注意

栽培法は殆どは従来のイタリアンライグラスに準じてよいわけですが、播種量は幾分少な目にしてよいでしょう。即ちイタリアンは一年草だけに分蘖期間が短く、直ちに伸長期に移行しますが、ペレニアルは分蘖期間が割合長く旺盛な分蘖をしますから両者の播種量はイタリアン二～五瓩、ペレニアル二～三瓩を普通反当撒播播種量としておりますが、本草はその中間型ですから割合分蘖も多く二～四瓩が適当でしょう。又他牧草との混播では一瓩程度が適当です。又施肥の効果は他のライグラスと同様に大きく、一例を挙げますと反当堆肥一、五〇〇～三、〇〇〇瓩、硫安一五～四〇瓩、過石一五～三〇瓩、硫加八～一五瓩位を施すと良い成績が得られましょう。特に生育の早い草ですから液肥の効果が顕著です。

以上要するにH・ワン・ライグラスはイタリアンライグラスの一品種で短期間に旺盛な生育を行うイタリアンの性質に更にペレニアルライグラスのような二、三年生草としての性質を加えたもので、短期（大体二年）輪作草地に用いられる禾本科の優良牧草です。（雪印種苗・上野野育種場）